



伊賀上野城

IGA UENO CASTLE



伊賀上野城 全景

伊賀上野城 天守閣

開館時間

9:00～17:00 (最終入館16:45)

休館日

12月29日～31日

登閣料 (入館料・税込)

【個人】大人 600円	小人 300円
【団体30名以上】大人 500円	小人 250円



マスコットキャラクター
た伊賀ーくん

公益財団法人 伊賀文化産業協会

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内106 Tel. 0595-21-3148 Fax. 0595-21-3149

小天守 二層二階 高さ9.54メートル
大天守 三層三階 高さ23メートル (天守台高さ53.3メートル)

各層の屋根は多様な瓦面を特徴とする複数の天守閣。

伊賀上野城



日本有数の高さを誇る石垣。
本丸西側の内堀の面で、高さ約30メートル以上。
壁面に美しい苔が生えています。

高石垣

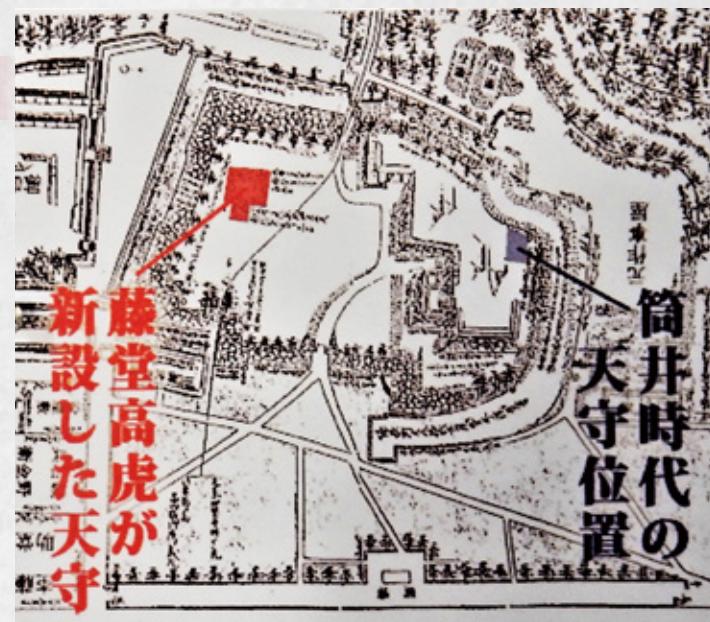
藤堂

とうどう
たかどら

西に備えた城

高虎

慶長13(1608)年に筒井氏に代わって徳川家康の命により今治城主藤堂高虎が伊勢安濃津・伊賀に転封となった。筒井氏の本丸を西に拡張し、大阪の豊臣方に備えて高石垣を築いた。慶長17(1612)年の暴風雨により五層の天守は未完成のまま倒壊した。その後、大阪の陣で勝利した徳川幕府の城普請禁止策により天守は再建されないまま、城代家老の執政体制が幕末まで続いた。



復興天守（現天守閣）

木造三層三階 層塔型

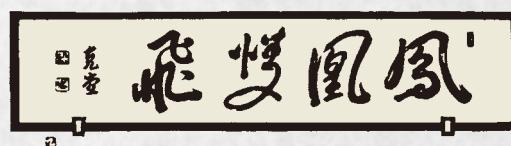
地元出身の代議士、川崎克氏が私財を投じて昭和10(1935)年に木造天守を復興。「伊賀文化産業城」と名付け、伊賀の文化や産業を盛んにするための拠点とした。



上棟式(昭和8年11月)



三階の折り上げ格天井。1m四方の書画の大色紙が46枚はめ込まれている。竣工当時の著名な政治家、画家、文人などからの竣工の祝いとして送られた。



大天守入口の扁額「鳳凰雙飛」
川崎克書
「白鳳城」の雅名にちなんで「雌雄のおとりが並んで飛んでいる」の意味

3階はパノラマ展望 1階、2階は展示館



1階 武具甲冑のコーナー



藤堂家の家紋
とうどうけいの
「藤堂薺」



たかゆき
第11代藩主高鶮公の兜



まえだ ごこう
藤堂高虎公座像(部分) 〈前田吳耕画〉